

私たち、支援を待っています！

—アスナビ説明会を開催

トップアスリートの就職を支援する「経済同友会アスナビ説明会」が3月9日、開かれた。今回が9回目。アスナビは、現役トップアスリートと企業をマッチングする就職支援制度だ。2010年から2018年3月5日現在までにアスナビで採用された選手は計139社209人に上る(2018年4月入社内定者を含む)。この日は、経済同友会の会員所属企業など35社45人を前に、男女6人の選手が競技の紹介や意気込みを発表した。懇談会では選手が積極的に名刺交換し、自らを売り込んでいた。



好奇心と向上心で仕事と競技の両立を

狩野 愛巳 (かの みなみ)
フェンシング・フルーレ

●1996年生まれ(21歳)。宮城県宮城郡出身。早稲田大学スポーツ科学部卒業見込み(2019年3月)。●7歳でフェンシングを始める。2015年ジュニアワールドカップ8位/2016年アジア選手権大会3位/2017年アジア選手権大会3位/2017年世界選手権大会16位。

ほかの人以上に練習して人並みな私の強みは、練習を努力ではなく必要なこととしてできること、1%でも可能性があればあきらめないことです。オリンピック出場という目標を社員の皆さまと一緒に目指して、努力する姿で社員の皆さまの活力となっていきたいです。学生時代に文武両道を実現したように、好奇心と向上心で仕事と競技の両立を目指します。



挑戦することで学びを増やしたい

佐久間 滉大 (さくま こうだい)
陸上競技・走幅跳

●1996年生まれ(21歳)。神奈川県横浜市出身。法政大学スポーツ健康学部卒業見込み(2019年3月)。●日本陸上競技連盟の「ダイヤモンドアスリート2014-2015」11人のうちの1人として認定される。2016年織田幹雄記念国際陸上競技大会3位。

大学入学後、記録の伸び悩みなどから単身渡米、米国で1カ月間練習しました。帰国後も米国で学んだ技術などを採り入れようと試行錯誤しましたが、うまくいかず悔しい思いもしました。一部だけを採り入れることで、自分の強みに気付きました。仕事でも、失敗を恐れず挑戦することで学びを増やしていきます。学んだ英語も仕事でも活かしていきたいです。



めげずに目標に向かって突き進む

央戸 美華 (ししど みはな)
カヌー・スプリント カヤック

●1996年生まれ(21歳)。神奈川県藤沢市出身。同志社大学スポーツ健康科学部卒業見込み(2019年3月)。●小学2年生でカヌースプリント競技を始める。2017年オーストラリアナショナルカヌーマラソン選手権U23 22.6km 3位。

約15年間の競技生活の中で、日本代表候補に選ばれながらも代表に入れなかった経験をして、オリンピック出場という夢が明確な目標に変わってきました。かなわないことがあっても、そこで悲観せず、目標に向かって突き進めるところが、私の長所です。土気向上、会社の認知度アップなどに貢献するため、努力と笑顔で頑張ります。

P14~15に掲載されている選手ら、トップアスリート支援についてのお問い合わせはこちら。 JOC キャリアアカデミー e-mail: career@joc.or.jp Tel: 03-5963-0354
※電話受付時間は平日午前10時から午後6時まで 担当: 原口

応援してよかったと思われる選手に



野口 宜裕 (のぐち よしひろ)
ラグビー・男子7人制ラグビー

●1994年生まれ(23歳)。東京都出身。専修大学法学部政治学科卒業見込み(2019年3月)。●2017年、大学生ながら日本代表に選出。2017年ジャパンセブンズ2017優勝/2017年アジアラグビーセブンズシリーズスリランカ大会で準優勝し、シリーズ総合優勝。

学生、プロ、日本人、外国人とさまざまな人が集まるセブンズの代表チームはダイバーシティの縮図と言えます。試合はわずか14分間で勝負が決まるため、コミュニケーション力が求められます。逃げない、失敗を恐れない、明るく元気に挑戦する、が私の信条です。培った経験を活かして仕事にも貢献し、心から応援してよかったと思ってもらえる選手になりたいです。

メダルを目指す過程を共有したい



長谷川 大悟 (はせがわ だいち)
陸上競技・三段跳

●1990年生まれ(28歳)。神奈川県横浜市出身。東海大学情報理工学部卒業。2017年日立ICTビジネスサービス退職。●中学時代に陸上競技を始める。2015年アジア陸上競技選手権大会6位/2016年リオデジャネイロオリンピック予選29位。

前職では週5日勤務し、勤務後に練習していました。仕事と競技との両立を図る中でさまざまなことを学び、工夫を生みました。この積み重ねが、2016年、三段跳での日本代表として12年ぶりのオリンピック出場につながったと思っています。人生の全てをかけて東京オリンピックでメダルを取る、その過程の成長を社員の皆さまと共有し、士気高揚を図りたいです。

集中力を武器に全力で取り組む



前田 寿隆 (まえだ としたか)
テコンドー・キョルギ58kg級

●1997年生まれ(21歳)。愛知県長久手市出身。大東文化大学文学部卒業見込み(2019年3月)。●小学4年生でテコンドーを始める。2017年全国日本学生テコンドー選手権大会男子63kg級優勝/2017年カナダオープンテコンドー選手権大会男子63kg級5位。

6歳から学んだ空手で培った闘争心と、テコンドーで培った集中力は、私の最大の強みです。リーダーシップを取ることも得意で、大学では日本一の実力を誇るテコンドー部で主将を務めました。大学選手権大会では個人だけでなく、団体も優勝に導きました。就職後も業務や競技に対し、闘争心あふれる熱意と集中力、感謝の心で全力で取り組みます。

その他の現役続行のための就職支援希望アスリート一覧

夏季 競技選手



油井 快晴(22歳)
陸上競技・短距離



古谷 拓夢(21歳)
陸上競技・110mハードル



長谷川 孝(32歳)
セーリング・ヨット



中村 克也(22歳)
陸上競技・やり投げ



但野 瑠勇(22歳)
バレーボール・ビーチバレー



吉村 樹希敢(25歳)
自転車・BMX



墨 訓熙(24歳)
陸上競技・ハンマー投げ



本村 嘉菜(22歳)
バレーボール・ビーチバレー



菊池 小巻(21歳)
フェンシング・フルーレ



石川 周平(22歳)
陸上競技・110mハードル



島田 諒太(27歳)
体操・トランポリン



渡邊 えみ里(21歳)
カヌー・スプリントカヤック

冬季 競技選手



松橋 亜希(25歳)
スキー・ジャンプ



一戸 誠太郎(22歳)
スケート・スピードスケート



浅野 晃佑(27歳)
ボブスレー



鈴木 湧也(23歳)
スキー・スノーボードアルペン



村上 右磨(25歳)
スケート・スピードスケート



宮嶋 克幸(22歳)
スケルトン



齋藤 慧(22歳)
スケート・ショートトラック



横山 碧生(20歳)
スケート・スピードスケート

パラリンピック 選手



佐藤 駿(22歳)
ボッチャ



辻村 真貴(23歳)
ゴールボール



大堂 秀樹(43歳)
パラ・パワーリフティング